

企業信用調査報告書

調査対象企業

会社名: A-Tech株式会社

代表者: 代表取締役社長 田中一郎

本社所在地: 東京都品川区西五反田3-8-15

設立年月日: 2019年4月15日

資本金: 3,000万円

従業員数: 15名

調査概要

調査機関: 東京信用調査株式会社

調査日: 2024年1月25日

調査担当者: 主任調査員 佐藤健一

調査方法: 現地調査、財務分析、取引先ヒアリング

企業概要

事業内容

主要事業: 産業用機械部品の販売・メンテナンス - 精密部品の仕入れ・販売（70%） - 機械設備のメンテナンス（20%） - 技術コンサルティング（10%）

沿革

- 2019年4月: 田中一郎氏により設立
- 2020年3月: 本社を現在地に移転
- 2021年6月: メンテナンス事業部を新設
- 2022年10月: 従業員数が15名に拡大

- 2023年3月: c1012社との取引開始

組織体制

- 代表取締役社長: 田中一郎 (52歳)
- 取締役営業部長: 山田花子 (45歳)
- 取締役技術部長: 鈴木太郎 (48歳)
- 従業員: 12名

財務状況分析

貸借対照表 (2023年3月期)

資産の部 - 流動資産: 85百万円 - 現金及び預金: 15百万円 - 売掛金: 55百万円 - 棚卸資産: 15百万円 - 固定資産: 45百万円 - 有形固定資産: 35百万円 - 無形固定資産: 10百万円 - 資産合計: 130百万円

負債の部 - 流動負債: 65百万円 - 買掛金: 35百万円 - 短期借入金: 25百万円 - その他: 5百万円 - 固定負債: 20百万円 - 長期借入金: 20百万円 - 負債合計: 85百万円

純資産の部 - 資本金: 30百万円 - 利益剰余金: 15百万円 - 純資産合計: 45百万円

損益計算書 (2023年3月期)

- 売上高: 200百万円 (前年比-15.2%)
- 売上総利益: 60百万円 (売上総利益率30.0%)
- 営業利益: 8百万円 (営業利益率4.0%)
- 経常利益: 5百万円 (経常利益率2.5%)
- 当期純利益: 3百万円 (当期純利益率1.5%)

主要財務指標

指標	2023年3月期	2022年3月期	業界平均
自己資本比率	34.6%	38.2%	42.5%
流動比率	130.8%	145.3%	135.0%
売上高営業利益率	4.0%	8.5%	7.2%
総資産回転率	1.54回	1.72回	1.65回
ROE	6.7%	12.3%	9.8%

信用評価

帝国データバンク評点

現在の評点: 45点（要注意） 前回評点: 52点（普通） ※2023年1月時点 評点推移: 下降傾向

評価要因

マイナス要因: 1. 売上高の減少（前年比-15.2%） 2. 収益性の悪化（営業利益率4.0%） 3. 自己資本比率の低下 4. 支払遅延の発生

プラス要因: 1. 代表者の業界経験豊富 2. 技術力の高さ 3. 特定分野での競争力

取引状況調査

主要仕入先

- 精密部品商事株式会社
- 取引期間: 4年
- 支払条件: 月末締め翌月末払い
- 支払状況: 最近3ヶ月で2回の遅延
- 東京機械部品株式会社

- 取引期間: 3年
- 支払条件: 月末締め翌月末払い
- 支払状況: 1ヶ月の遅延が1回

主要販売先

- c1012株式会社
- 取引開始: 2023年3月
- 売上構成比: 約45%
- 回収状況: 良好（取引開始当初）
- 製造業A社
- 取引期間: 2年
- 売上構成比: 約25%
- 回収状況: 良好

経営者情報

代表取締役社長 田中一郎氏

年齢: 52歳

学歴: 東京工業大学機械工学科卒業

職歴: - 1995年-2010年: 大手機械メーカーで技術者として勤務 - 2010年-2019年: 中堅商社で営業部長として勤務 - 2019年4月: A-Tech株式会社を設立

人物評価: - 技術的知識が豊富 - 営業経験も豊富 - 人柄は誠実だが、経営判断に甘さがある

現地調査結果

本社・事業所

所在地: 東京都品川区西五反田3-8-15（賃貸ビル3階） 面積: 約200m² 状況: 整理整頓されており、業務に支障なし

設備・在庫

主要設備: - 検査機器: 3台（簿価15百万円） - 事務機器: 一式（簿価5百万円）

在庫状況: - 適正レベルを維持 - 滞留在庫は少ない

従業員

構成: 営業5名、技術7名、事務3名 **勤務状況:** 良好、離職率は低い **給与支払:** 遅延なし

リスク要因

財務面のリスク

1. 収益性の悪化
2. 営業利益率が業界平均を下回る
3. 固定費負担が重い
4. 資金繰りの悪化
5. 現金及び預金残高が少ない
6. 借入金依存度が高い
7. 売掛金の増加
8. 回収期間の長期化
9. 特定顧客への依存度上昇

事業面のリスク

1. 顧客集中リスク
2. c1012社への依存度が高い（45%）
3. 同社の業績悪化が直接影響
4. 競争激化
5. 同業他社との価格競争

6. 差別化要因の不足

7. 人材リスク

8. 小規模組織での属人的業務

9. 代表者への依存度が高い

支払能力評価

短期支払能力

評価: C（やや不安） 根拠: - 流動比率130.8%は最低限のレベル - 現金及び預金残高が少ない - 運転資金の調達余力が限定的

中長期支払能力

評価: D（不安） 根拠: - 自己資本比率34.6%と低水準 - 収益性の悪化傾向 - 借入金返済負担が重い

今後の見通し

短期見通し（6ヶ月）

業績予想: 厳しい状況が継続 - 売上高: 横ばいまたは微減 - 収益性: 改善の兆し見えず - 資金繰り: 要注意レベル

中期見通し（1-2年）

シナリオ分析:

楽観シナリオ（30%）: - 新規顧客の獲得成功 - 収益性の改善 - 財務体質の安定化

基本シナリオ（50%）: - 現状維持 - 緩やかな業績回復 - 資金繰りは厳しいまま

悲観シナリオ（20%）: - 主要顧客の離反 - 業績の大幅悪化 - 事業継続困難

推奨取引条件

与信限度額

推奨額: 1,500万円（従来3,000万円から減額） 根拠: 月商の約0.9ヶ月分に相当

取引条件

支払条件: 月末締め翌月末払い → 月末締め当月末払いに短縮 担保・保証: 代表者保証の継続 モニタリング: 月次での財務状況確認

注意事項

- 支払遅延の兆候があれば即座に与信見直し
- 他社での支払状況を定期的に確認
- 代表者との定期的な面談実施

総合評価

信用度: C（要注意） 取引継続: 条件付きで可能 主要懸念: 資金繰り悪化、収益性低下

結論: 現時点では取引継続可能だが、財務状況の悪化傾向が顕著であり、慎重な与信管理が必要。特に大口取引については十分な検討が必要である。

調査完了日: 2024年1月25日

報告書作成日: 2024年1月30日

調査担当者: 主任調査員 佐藤健一

承認者: 調査部長 田中花子